

帯広 パトカーから逃走 酒気帯び逮捕

信号無視繰り返し、雪山に突っ込む

飲酒運転

こんなことで、自分の人生を「棒に振ってよいのか」

飲酒運転

平穏な日常を、一瞬で悲劇に変えてしまいます

帯広 深夜1時 繁華街 コインパーキングから出た軽乗用車

飲酒運転の取り締まり中の 警察官が停車求めたパトカーから逃走

信号無視繰り返し、雪山に突っ込む 助手席側の窓から、車外に飛び出す 酒気帯び4倍のアルコールで逮捕

2024/2/3(土) 8:20

2日午前1時ごろ、JR帯広駅付近で、飲酒運転の取り締まり中の警察官がコインパーキングから出た男の軽乗用車を発見。

停車を求めたのに対し、男の軽乗用車は止まらず、およそ2キロにわたり、信号無視を繰り返しながら逃走しました。

その後、男の軽乗用車は、帯広市西16条南2丁目付近の通称「柏林台通」の緩やかな右カーブでスリップし、雪山に突っ込む。

男は助手席側の窓ガラスから車外に放り出されました。

左頬などから出血していたものの、意識があり、歩くこともできたので救急搬送までの間、呼気検査で酒気帯び運転の基準の4倍のアルコールが検出され、同日午後、逮捕されました。

会社員の男（66）は取り調べに対し容疑を認めているということです。

警察は、逃走中の信号無視などについても裏づけをすすめています。